1 //	<u> </u>	1 -1-7-	× \	1 /24 0 0		J/ / J		- ш	!				(13)		
会計名 担当部												建設部			
-	_	会計		ħ道 Ω	1 – 4	0 등	·線他道路親	F:砂?	女良事 美	Ě		-	直路建設課		
款	-	項 E	1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				1 4/			担	当係	直路整備係		
8		2 3		分野	邦 士	環境									
		総合		基本施定		^{垛况} ▪ 交通									
		施策	本系	施策の内		の整備									
A N A	A 事業概要	E 65		バイ/ ことにも	ペス機能を より、慢性	持った	幹線道路を整備 通渋滞を緩和し を抑制する。		主たる内容	熊野	·町6丁目 ·長	号線(起点])の道路 1, 600m . 0~15. 5m	1	~終点:	
画		位 関	連計	画 刈谷	市都市計画	画マスク	タープラン、刈谷	市都市	市交通戦略						
		位置づけ	 拠法:	令 道路	 法										
\vee			象者	市民					事業期間	ell z	区成 1 つ	1 年度 ~	 令和8年度		
			一 地方法			⊥ ⊓t		h . Ahs				. 1,2	171110 172		
				3年度実績		10 L)	29年度実績	פונעד נ		O 年度 1	宇結		31年度記	+面	
		・用地 ・物件 ・周辺	取得 移転ネ 調査	2, 49 甫償	97㎡ · 1件 ·	·周辺整	f設改良工事 整備工事 引仮設道路工事 操越分)	837m²	・用地取得 ・橋りょう ・工事用仮 (H29繰越	詳細設設道路分)	2, (計 工事 事	・工事 ・排力 154m (H3	R調査協定 R下部工工事 F用仮設道路二 K路改修工事	3基	
	B 事 業 実	成		道路新記		い、部分	目地の面積割合で全 ↑供用をすることが すう。			きた。					
	績	課題	因												
	אליוו			†	指標名称	(畄位)				実終	責値		目標	票値	
0									28年度	29	年度	30年度	31年度	3年度	
\wedge		活動 指標	道路	肝地の面	積取得率	(%)			81. 5	;	91.6	99. 4	100.0	100.0	
実		活動指標	道路	各整備率(%)				_	-	_	9. 6	11.9	17. 3	
施		指標 他市との 比較検証													
\vee		単	≦位:	千円	285		29年度		0年度		年度		30年度 事業費内訴	1	
	(決算) (決算) (決算) (予算) 事業費 ① 338, 781 155, 082 351, 815 446, 416				815,065 円										
	С	財		 E財源		1, 081	4, 358		259, 116		230, 700	→ 帯用質		20, 200 円 534, 159 円 882, 960 円	
	事	源	一般		30	7, 700	150, 724		92, 699	2	215, 716	公有財	産購入費 46,8		
	業コ		人件	費 ②	1	5, 943	13, 493		9, 799		9, 211	文付金	、補助及び 2 補填及び賠	250, 132 円	
	コ	総事業	養費(1+2)	35	4, 724	168, 575		361, 614	2	155, 627	一一一		800,000 円	
	ヘト	建	全任	本事業費	· (単位:千	円)	0	3	30年度特別	定財源名	吕称				
		建設事業	30	0年度まで	での累積事	業費	0	都市	交通施設整 金	備基金					
		業	2	年度以降	の事業費	見込	0	小木化丛	<u>ж</u>						

	会	計名				担当部	建設部
	7,32	会計	市道01-40号線他道	攺斩嗀	改良重業	担当課	道路建設課
款		項目	一川垣ひて チンケ豚に足り	四利以	以及于木	担当係	道路整備係
8		2 3					
			各視点からの評価			評価の理	曲
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	北地区間の移動に時	間を要してい 道路の交通安	性化していることから、南いる。また通過車両が生活安全の確保が危惧される状態じる必要性が高い。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	備を行い、将来的な	道路網を形成 推進する。ま	比縦貫道路の一部区間の整 対するため、広く市民から た、社会資本整備総合交 る。
С	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	化や市街地内の渋滞	が緩和され、 な道路の安全	を行うことで、交通の円滑 地域間の交流が活発にな 全性が確保されることで、
K < 評	評価	施策への貢献度	■ ● 日標注放度	高い	道路整備により、 性の向上が期待でき		道路の混雑緩和と生活利便
			今後の方向性 口拡充	■現状維持	専 □改善・効率化	□縮小 □終	∛期設定 □休止・廃止
価 >		橋り	ょう工事に必要となる仮設道路整備を進	めるととも	うに、JRと工事協定に	向けた調整を	進めていく。

1 //		' '		\ 1 /2	, 	1/2011	ш/ / ЭС							(13)	
	会計名 建設部 建設部 建設部														
	—船	会計	†	+ `	* 0	6 -		40 /山、岩 02 立	_≘ ⊐	, 나 스 古 3	Ľ	担	当課道	直路建設課	
款		項		Щì	旦之。	— ю	195	·線他道路親	「設」	以及事 タ	Ē	担	当係 道	 道路整備係	
8	_	2	3									3-			
					分野	都市	市環境								
			合計画	_			<u>トース クラー</u> 各・交通								
		施	策体系	∻	策の内	•	ュー <u>へ過</u> 各の整備								
Р				ne.				道路を結ぶ生活	首		市道	2_610두	1.绝(护占:	天王町6丁目	~ 終占・
L A	A 事				を整備す		により、	生活基盤及び地		主たる内容	松坂		目)の道路 9m		
Ν	業		的							囚一					
IN			ΗЛ												
\land	概														
計	要														
		柼	関連	━━━━ ≣┼I面i											
画		位置づけ			\44.0b										
\vee		ゖ	根拠	法 令	道路	法									
			対象を	当	市民					事業期間	当 平	☑成12	2年度 ~	令和4年度	
			■■	—— i法	■直				カ・助原	↓ □その(tt,				
					 度実績			29年度実績	3 237.) 3年度第	巨结		31年度記	1 面
		· 🖽	 地取ネ		及天順 694㎡		• 道路部	行設改良工事 21	8m	· 道路新設			lm	314技画	1 🕮
					2 7件		(H28約			(H29繰越		, 100	""		
							・用地取		6m²	• 道路新設	改良工	事 218	Sm		
							・物件科 	多転補償	1件						
	В				道路新記		」 事を実施し	ン、道路整備率の進	歩を図	ることができ	きた。				
	事	J	成果												
	業				用地交流	歩が難航し	している								
D	実	,	課題												
	績	,	J-1-1-C_												
	禎										実績	書店		目標	単値
О					ł	旨標名称	(単位)		ł	28年度		年度	30年度	31年度	3年度
		活動	助 道	路用	地の面積	責取得 率	£ (%)								
\wedge		指标	票				·			60. 4		73. 1	73. 1	73. 1	73. 1
		活動		路整	備率(%)				_	.	0.0	83. 3	83. 3	83. 3
実		指标	<u> </u>												
		他ī	もとσ.												
施			校検証												
						0.0	左曲	0.0左连	0	0.仁庄	0.4	左曲		0.0左连	
\vee			単位	:千F	9		年度 (算)	29年度 (決算)		〇年度 決算)		年度		30年度 事業費内訴	
				(0				((7)		4		96, 080 円
			爭業	費(1)		61, 747	27, 781		37, 196		0	工事請負		96, 080 円
	С	財	特	定財	源		24, 668	1, 289		19, 054		0			
	事	H						·							
		源	_	-般財	源		37, 079	26, 492		18, 142		0			
	業	罪	員人	件費	2		12, 035	3, 800		2, 083		0			
					·					-					
	ス	総事	業費	(1)-	+(2))		73, 782	31, 581		39, 279		0			
			1	全体重	業費((単位: -	千円)	0		30年度特別	定財源名	3称			
全体事業費(単位:千円) 0					繰越										
	建設 30年度までの累積事業費 第 2年度以降の事業費見込					0	体地	NT							
		業		2年	度以降の	の事業費	見込	0							
								ı					1		

_											
	会	計名				担当部	建設部				
-	一般	会計	市道2-619号線他	h.	冰白車 業	担当課	道路建設課				
款]	項目	11) 恒 2 0 1 9 5 脉间	这些时初以	以及事本	担当係	道路整備係				
8		2 3									
			各視点からの評価			評価の理	Ф				
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	地元要望に伴い、する事業であるため		活道路を結ぶ道路を新設 \。				
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通							
C	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	普通							
	評価	施策へ <i>0</i> 貢献度	Ⅰ • 月標達成度	普通	生活道路を新設整備することにより、緊急車両の通行を 可能にする等、地域住民の利便性が確保される。						
価			今後の方向性口拡	充 口現状維持	詩 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 ■休止・廃止				
1W V		引き	続き地権者交渉を進める。								

1 //	~ ~			1 /50 0		טיי יטנ			ı				(13)	
	会計名 担当部 建設部 -般会計 市道2-485号線他道路新設改良事業													
	一船	会計	f .	士送っ	_ 10	ᄃᄆ	. 给 . 从 .	⊆=ு:	小白車 3	Ľ	担	当課道	路建設課	
款		項	目	川坦乙	- 4 0	57	秘心理始初	「良」	以及 争え	₹	担	当係 道	路整備係	
8		2	3											
		4//-	会計画	分野	都市	環境								
			合計画 策体系	基本施	策 道路	· 交通								
Р		រាយ១	水冲尔	施策の内	容道路	の整備								
							置することによ						銀座5丁目~	√終点:銀
					り安全確保	及び地	域の住環境の向.	上を		座4丁		道路整備 210 ₁		
L	^			図る。							· S幅員	10. 0i		
	Α		目						主	車道	幅員	7. Oı	m	
А	事								にる		幅員	3. 01	m	
	業		45						主たる内容	电初	類地中	-1 <u>C</u>		
Ν			的											
\land	概													
計	要													
		位	関連計	画 刈谷	市中心市行	街地また	ちづくり基本計画	Ī						
画		位置づけ	根拠法											
\vee			対象者						事業期間	9 亚	成13・		 令和3年度	
						=+		0 0 0 0			火 1 0 .	十尺	カ和り千皮	
		ヺ	E施方法			5t U1	旨定管理 □補助	」• 助店			/ =		0.4 左连=	1.3
		. 🖽	地取得	8年度実績 105		· 用地交	29年度実績 E換 342㎡		・道路新設	〇年度実 改良工事)m ・道路	31年度記	
			地 以 件 移転			· 用地文 (H 28額			· 電線共同			/m 造品 式	利	# 190ffi
					-	用地取								
						物件核	多転補償 4件							
	C			T 44 11 4		- 1 / 14								
	В		_ =	電線共	司溝詳細設	計を実施	也した。							
	事	,	成果											
	業			電線共同	司溝整備に	ついて電	電線事業者と調整す	る必要	 『がある。					
D	実	į	課題											
	績													
					指標名称	(畄位)				実績	恒		目標	票値
0		\ - -	- <u>L</u> -32 -						28年度	29年	度	30年度	31年度	3年度
\wedge		活動指標		路用地の面	樍取得率	(%)			86. 9	10	0.0	_	-	_
, (活動	助 道	路整備率(%)				<u> </u>			4. 7	20. 1	100. 0
実		指標	票									т. /	20.1	150.0
		他ī	市との											
施			較検証											
			<u> </u>	· TM	285	丰度	29年度	3	O年度	315	F度		30年度	
\vee			単位:	· TH	(決算		(決算)		決算)	(予算			事業費内訴	
			事業費	麦 ①	7	1, 639	30, 094		18, 068	1	9, 000	委託料)68, 400 円)18, 400 円
	С	B+	性生生	 定財源		2, 274	30, 094		0		5, 000	」安武科 工事請負	負費 4,0)50,000 円
	事	財				-	·					+		
	業	源	— 	般財源	6	9, 365	0		18, 068	14	4, 000]		
		联	鎖人作	井費 ②		3, 439	1, 706		1, 234		1, 703			
		コ 総事業費 (1)+②) 75,078 31.		31, 800		19, 302	2	0, 703	1					
	全体事業費(単位:千円)													
	建設 30年度までの累積事業費 第 2年度以降の事業費員込			0					1					
		事業					0							
		業 2年度以降の事業費見込			元心	ا V					1			

_							
	会	計名				担当部	建設部
	一 舟	设会計	市道2-485号線	44.	改白車業	担当課	道路建設課
117	款	項目	印度 2 400万脉	心但如初以	以及尹木	担当係	道路整備係
	8	2 3					
			各視点からの評価			評価の理	曲
C		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	生活道路を拡幅し 者・自動車が安全に		↑離することにより、歩行
F	ł	効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	両側拡幅ではなく が軽減できる。	、南側拡幅と	:することで、物件補償費
C	力部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	普通	市民生活を安全かである。	つ快適にする	らため、公共性の高い事業
K /	価	佐笠への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	普通	道路拡幅により、 ることができるため		5った路線を交互通行とす 川便性が向上する。
			今後の方向性	拡充 ■現状維持	・ 口改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
位 >		電線事	業者との協議を進め、電 線共同	溝整備に着手する	ò.		

1 //	/ \ \		1/2	\ I	19400	1/2011	ш/ /-5 С		ш /					(15)	
	会計名 担当部 建設部 一般会計 十、米ののククス 日 40 小、米 B 女 三 D 75 大 20 方 大 20 直 20 直 20 三 20 三 20 三 20 三 20 三 20 三														
	一船	全会 記	i †	#	ばつ.	_ 3 /	1 7 무	線他道路親	£≣₽⊐	から 車る	上	担	当課 道	路建設課	
款		項		111	旭り	5 2	+ / ⁄	冰心坦떱利		以及事才	<	担	当係 事	業推進係	
8		2	3												
		4公	合計画	5 1	分野	都市	市環境								
			策体系		基本施策	美 道距	路・交通								
Р		נטנו	水件	IN .	施策の内		路の整備								
L	Α						盤となる 促進を図	道路整備を行う る。	こと	主	野田町 延長		ゴ)の道路 m	₹:野田町新│ 整備	田~終点:
N ^	事業概要		的							主たる内容					
		位	関連	計画	川公川	市都市計	+画マスタ		- 地名	上 推進ビジョン	·				
画		位置づけ	根拠					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
\vee						运					_	-			
			対象	者 ——	市民					事業期間	平月	艾28	年度 ~	令和3年度	
		9	実施方	法	■直	営■季	≶託 □排	旨定管理 口補助	・助原	戊 □その付	也				
			2	281	丰度実績			29年度実績		3(O年度実統	債		31年度記	+画
		・道	路予	備設	計			f設改良工事 11	0m	・用地測量			• 用地		590m²
							・道路詩	F 細 設計					(H30)繰越分) !取得	922 m ²
														新設改良工	
	C					- · ·									
	В		成果		用地頁場	又に必要7	な用地の循	笙定ができた。							
	事		戍未												
	業				地権者3	交渉及び	関係機関協	協議を進める必要が	ある。						
D	実		課題												
	績														
	112				+	七抽夕斩	「(単位)				実績個	直		目標	票値
0										28年度	29年	度	30年度	31年度	3年度
\wedge		活動 指		直路月	用地の面	樍取得率	≅ (%)			_		-	0.0	100. 0	100. 0
, (活動	動道	直路	整備率 (%)				_	1	7. 7	17. 7	33. 9	100. 0
実		指	漂]	
			市との												
施		比	較検証	止											
\ /			単位	7 · ⊐	<u>-</u> Щ		年度	29年度		O年度	31年			30年度	
V						(決	算)	(決算)	(決算)	(予算	(章)		事業費内部	
			事業	費	1		2, 106	78, 035		12, 911	18	3, 133	委託料	9, 2	910, 792 円 238, 792 円
	С	財	#	寺定見	財源		0	0		0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	工事請負		672,000 円
	事	源	-	—— 一般!	 財源		2, 106	78, 035		12, 911	18	3, 133	1		
	業				E 2		938	3, 645		4, 706	(6, 115	1		
	ス 総事業費 (①+②) 3,044		3, 044	81, 680		17, 617	24	4, 248	1						
	\ \	Z≢	9	全体	事業費	(単位:	千円)	0	3	30年度特別	定財源名和	弥			
			by land	30	年度まで	の累積	事業費	0]		
		建設 30年度までの累積事業 2年度以降の事業費			見込	0									

						1-111				
	会	計名				担当部	建設部			
-	一般	会計	市道3-347号線他	首攺新設	改良重業	担当課	道路建設課			
款]	項目	们是0047分脉吧。	巴四利政	以及于木	担当係	事業推進係			
8		2 3								
			各視点からの評価			評価の理	±			
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	工場立地に必要な ある。	基盤をつくる	ため、道路整備の必要が			
Η		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	工場立地可能な必	要最小限の整	発備区間にしている。			
E C	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	工場立地を円滑に する必要がある。	誘導するには	は、市が主体となって整備			
K <評	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	普通	道路整備により工場立地が可能となり、工場用地が確保できる。					
			今後の方向性□拡充	₹ ■現状維持	専 □改善・効率化 □	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止			
価 >		用地	買収及び道路整備工事を進める。							

<u> </u>				(1 /2	100	1/2011	ш, , з с		ГШ /	'					3.2417
	一般会計 大学 〇 1 4 日 4 日 4 日 4 日													建設部	
	_			市	首の	1 — 4	1号線	他道路新設	रु	皇事業			-	直路建設課	
款	_	項		.1. ~		•	. 3 4%		~ ->< ,	× 1. ×/		担	当係 ス	ζΔートΙ C	整備係
8	Ц	2	3												
		総	合計画		分野		市環境								
			策体系	₹ <u> </u>	基本施制		各•交通								
Р				施	策の内		各の整備	(B) ** (D) ** # # #	4台 1 .		<u> </u>		65 /±= E	II / AS m= Nb -	1 \ 1
L A N <	A 事業概要		自	行	主要地	b方道名 : で、歩 [:]	古屋岡崎	、県道岡崎豊明 線までの道路整 全と円滑な交通	備を	主たる内容	: 今川 延長 幅員	町交 : [13.	線(起点: 差点)の道 3,200m 5~15.0m 「幅員 2		之浦~終点
		位	関連	計画	刈谷	市都市計	一画マスタ	マープラン、刈谷	市都市	市交通戦略					
画		位置づけ	根拠		道路	: ±									
\vee						<i></i>					38 -	<u> </u>		^ - -	
			対象を	5	市民					事業期間	半	灭 1 1	年度 ~	令和4年度	
		E	実施方	法	■直	営■委	話 口指	f定管理 口補助	り・助原	或 口その	也				
					度実績			29年度実績			〇年度実			31年度	
		• 道 - - - -	路新記	设改艮	工事	105m	交差点道路詳	「設改良工事 10 「詳細設計 詳細設計 ○ う詳細設計	13m	・道路新設 ・交達点 ・用29 ・用地取得 ・用地取得	良工事 分)	9, 3	箇所・交差 90㎡・用地)繰越分)	
	П				W == += =			34 55 ±5 14 ± - 3//			1- /				
	B 事 業		成果		直路新記	货改艮工 특	事を実施し	/、道路整備率の進	渉を凶	 ることがで	きた。				
D	来実績		課題		道路管理	里者や河)	管理者と	: の継続的な協議を	実施し	∕、計画的な∛	事業進捗を	図る必	必要がある。		
	II)Ç				_	K.+= 12.11	- (24/4-)				実績	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		l p	標値
0					ł	旨標名称	(単位)			28年度	29年		30年度	31年度	3年度
•		活		路用	地の面積	債取得率	<u> </u>			90. 3	3 5	58. 0	89. 1	97. 9	100.0
^		指 活動 指	動 道	路整	備率(9	%)				88. 7	' 6	61. 0	67. 9	79. 4	92. 3
実施		他i	市との 較検証												
V			単位	:千F	9		年度 (質)	29年度 (決算)		〇年度 決算)	3 1 ^年 (予算			30年度事業費内記	
			(決算) 事業費 ① 31,315		103, 257		690, 600		5, 948		計 690,	599, 764 円			
	С	財		· 持定財			3, 900	0		508, 390		7, 900	需用費 委託料 工事請負	9,	239,900 円 716,427 円 780,000 円
	事	源	-	-般財	源		27, 415	103, 257		182, 210	8	8, 048	公有財產	產購入費	279, 513 円
	業コ	Ħ	職員人	件費	2		2, 892	14, 268		19, 443	1	9, 273	─ ─ 補償、補 _ 償金	捕填及び賠	583, 924 円
	ス 総事業費 (①+②) 34,207			117, 525		710, 043	62	5, 221							
	全体事業費(単位:千円)						30年度特別		称						
		建設事業	1	30年	度まて	の累積	事業費	0		交通施設整 新設改良事					
		事業 2年度以降の事業費見込				0	□ 道路新設改良事業債 0 繰越金								

	会計名 一般会計						担当部	建設部				
_	一般	绘計		市道01-4号線他道路	护动力	白車業	担当課	道路建設課				
款		項目	3	11) 但 0 1 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	机以以	尺于木	担当係	スマートIC整備係				
8		2 3										
				各視点からの評価			評価の理					
С		必要付	性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	量が多い上に大型車 路として利用されて	の混入率が高いる。しかし 的な交通渋滞	る重要な路線であり、交通 高い。また一部区間は通学 い、車線幅員や歩道幅員が が発生しているため、交 の必要がある。				
Н		効率に	性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通		交付金を活用	引することで、建設コスト				
С	D 内 部	妥当怕	性	・市が主体となって実施する べき事業であるか・総合計画との整合性 など	普通	整備や交差点改良を	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡 備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性 上を図るとともに企業の産業活動を促進する。					
K < 評	評価	施策へ		・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	イパス区間は道路の	拡幅が完了し 良好な住環境	限との交差点改良、及びバ いており、交差点の渋滞緩 寛の形成(騒音や交通安全				
				今後の方向性 □拡充 □	■現状維持	- 寺 □改善・効率化	□縮小 □終	※期設定 □休止・廃止				
価		今!	川町	交差点及び北側延伸区間について用地	買収及び道	道路工事を進める。						
>												

	· • ·	•		1 // 0 0	1/2011	ш/ / Ј	1075-101	100 Z	'				(13)	
会計名 一般会計 市道 0 2 一 5 号線他道路新設改良事業											担	当部 建	設部	
	一般	会計	├ .	± '¥ ^	0 5	- 口 4白	ᄺᇄᆇᇛᇎᇎ	しっとに	古 古 		担	当課 道	路建設課	
款		項	Image: Control of the	巾担∪	2 – 5	うちゃ	他退始和敌	攻以	文争 未		担	当係 事	業推進係	
8	_	2	3											
				分野	都市	市環境								
			合計画	基本施		<u>' ~ 交通</u> 咯•交通								
		施領	策体系	施策の内	-	ロース匝 路の整備								
Р							計画道路豊田刈	公 4		まなり2)_5.旦 紅	944 (扫占	:一里山町伐	tt ~级占
А	A 事 業			(県道語 交差点)	宮上知立 に接続す より分断	線)の整 る市道の	間により設置され 整備を行うこと 区の利便性及び	れる で、	主たる内容	: 一里延長	山町南 :	にて、他点 (5本山)の 1,400m ∼10.0m		. JA - #2 M
Ν			的											
\wedge	概													
	要													
計	^		BB\±=											
画		位置づけ	関連計											
\vee		け	根拠法	i令 道路	法									
•			対象者	市民					事業期間	明 平月	成26 4	 年度 ~	令和6年度	
		⋾	 『施方》	古		 ₹詳 □#		1 • Bhe	せ ロマの(H1				
						200		1431			生		31年度記	Limi
				8年度実績		・用地浿	29年度実績		・不動産鑑	〇年度実統 京誕価		- 洋攺	ジー <u>サ浸す</u> 詳細設計	ΙШ
									一门到庄皿	化計画				
												• 用地	取得 3,422	m ²
													繰越分) 1972	m²
					_							・用地	取得 655	m
	В			不動産	鑑定評価	<u>-</u> を行い用地	地単価決定の準備を	·行った	-0					
	事	F.	或果											
	業													
				地権者:	交渉及び	関係機関協	協議を進める必要が	ある。						
D	実	Ī	課題											
	績													
					比插夕新	(単位)				実績値	直		目標	標値
0									28年度	29年	度 :	30年度	31年度	3年度
		活動		烙用地の面	積取得率	<u>(%)</u>						0. 0	72. 0	100. 0
\wedge		指標											, = , ,	
		活動指標												
実									I	1				l
			もとの											
施		比輔	咬検証											
			AAK 1-1	-TM	28	年度	29年度	.3	O年度	31年	E度		30年度	
\vee			単位:	十円		算)	(決算)		決算)	(予算			事業費内訴	2
			事業費	<u> </u>		0	28, 859		1, 231		7, 011		計 1,2	231, 200 円
	\sim						20, 000			1-77		委託料	1, 2	231, 200 円
	С	財	特別	定財源		0	0		0		0			
	事	源	-1			0	28, 859		1, 231	14	7, 011	1		
	業 							-	-					
	職員人件費②			0	2, 481		3, 163		6, 811					
	総事業費 (①+②) 0			31, 340		4, 394	153	3, 822						
	ストライン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラン・ストラ				0		 3 O 年度特別	定財源名和	弥					
	全 30年度までの累積事業費 2年度以降の事業費見込				0					-				
		事業	3											
		業 2年度以降の事業費見込			見込	0								

	会	計名				担当部	建設部		
	一般	会計	市道02-5号線他道路	站设办	白車業	担当課	道路建設課		
款	! !	項目	印度02 0万脉心坦西	机以以	以于木	担当係	事業推進係		
8		2 3							
			各視点からの評価			評価の理	曲		
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	県道宮上知立線に を確保に必要な事業		いる地区の利便性及び安全		
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	県道整備の事業進 進めていくため、効		、用地購入、道路整備を É捗が図れる。		
С	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	雀保するため、公共性の高				
K へ 評	評価	施策への 貢献度	■ 日標達成度	県道宮上知立線により分断される地区の往来が可能となる。 普通					
			今後の方向性■拡充	□現状維持	専 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止		
価 >			を備による市民の利便性を確保するため、 事業進捗状況に合わせて事業進捗を図る。			路線の計画領	意定を進めるとともに、		

' ''	<u> </u>	<u> </u>	/2 \	1 // 0 0		7.5 [- ш					(13)	
	会	計名									担当	当部 建	設部	
一 _{般会計} 市道 O 1 一 4 1 是 線他道路新設改良事業								担	当課 道	路建設課				
款		項		D 但 U	I — 4	· 万	禄 他坦始和	丌設口	以及事 タ	₹	担当	当係ス	マート I C i	 整備係
	_											- ,,,,,		
Ĭ				分野	都市環	偣								
		総合	画信	基本施定										
		施第	体系	施策の内										
Р							ンジの整備に合	カ#		古洋01	_//1무성	绝 (記占:	市培町石油	√ 終占・亩
A N ^	A 事 業 概 要		目	た道路整 交通渋滞	&備を行うこ	: とで 辺地	、産業の生産性 域の活性化、観	向上、	主たる内容	境町松 延長	:ケ枝) :	線(起点: の道路整(1,900m ∼30.0m	東境町石神・	~ 終点:果
		位	 関連計i	面 刈谷		マスク	タープラン							
画		賞 —	根拠法:		法、道路橋		-							
\vee		.,	対象者	市民	A、 但叫"同·	ן רייני			事業期間	3 9 77 5	# 0 0 4	生	一 令和3年度	
					<u> </u>			h 0+.			火 2 9 -	十段 ~	ア州 3 千及	
		夫	施方法			⊔ł	旨定管理 □補助	リ・助店			·=		0.4 F.F.	1.75
			28	年度実績		关 0 夕 ≘5	29年度実績 細設計		・駐車場改	〇年度実約 白工東	_真 2箇月	C - 括 I	31年度記 ょ うエ 事	f画 1箇所
						基 岭市	F水四 6文 春 I		· 組基場 以外, · 用也與 · 道路 · 用地測量	分) 設計	2回乃 3, 124n	n ・道路 (H30 ・道路	新設改良工事 繰越分) 新設改良工事 池改修工事	≨ 550m
	B 事	Ð	 戊果	令和4年	3月までの完	成に向	可けて計画的に工事	を進め)ることで、 ⁻	予定通り事	業の進	渉を図った。		
	業			スマー	トICの早期	開通に	向けて、関係者協	協議を迅	1速かつ適切(こ実施する	とともに	に、工事を	確実に進捗させ	せる必要があ
	実績	<u> </u>	果題	る。										
0				į	指標名称 ()	単位)			00	実績値			目標	
		活動	h 12 th 100	·整備率(06)				28年度	29年	[]	30年度	31年度	3年度
\wedge		泊 野 指標		1笠1川半()	% 0)				_	-	-	0. 0	36. 8	100. 0
		活動	ו											
実施			ミ 		スマート I (鞍ヶ池、		所(実施中含む) 名古屋市(、							
-					28年	Ė	29年度	3	〇年度	31年	一		30年度	
\vee			単位:	千円	(決算)		(決算)		決算)	(予算			事業費内訴	
			事業費	1		0	3, 024		291, 095	690), 401	合 需用費		95,078 円 42,400 円
	С	財	特定	三財源		0	0		233, 539	481	1, 000	委託料	102,9 なび賃借料 4	86, 196 円 35, 614 円
	事	源	一般	財源		0	3, 024		57, 556	209	9, 401	工事請負	負費 80,1 ≣購入費89,4	01,440 円 84 700 円
						19, 057	16	6, 177	負担金、 交付金	補助及び 6,7	21,066 円			
					310, 152 706, 578 補償、補填及び賠 償金 11, 323, 662 円				23, 662 円					
全体事業費(単位:千円) 0 30年度特定財源名称							, -= , ,							
		建設事業	30	つ年度まて	での累積事業	費	0		交通施設整 新設改良事					
		業	2	年度以降	の事業費見	込	0		業務負担金					

_	会計名 担当部 建設部													
一般会計 市道 O 1 — 4 1 号線他道路新設改良事業 <u>担当課</u> 道路建設課														
	中垣 0 1 一 4 1 号線他退路新設以及事業 担当係 スマート													
款				-171 112		担当係	スマートIC整備係							
8		2 3												
			各視点からの評価		評価の理	曲								
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	大規模工場の集積地 交通集中による慢性	であり、この 的な渋滞が発 いるため、ス	E引する自動車関連産業のD地域を通る幹線道路では、 S生し、物流交通や市民の CマートICを整備すること							
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	I Cアクセス道路 ることで、建設コス		「る国の補助事業を活用す 『めている。								
С	内部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	トICのアクセス道路	を整備するこ	可の通路を改良し、スマー ことで、事業の早期実現を こと交通渋滞の緩和を促進								
K へ 評	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	辺地域が活性化され	、産業生産性	成が拡大することにより周 きの向上、大型車減少によ きや地域防災性が向上する								
			今後の方向性□拡充	■現状維持	・ □改善・効率化 □	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止							
価	スマートICの令和4年3月までの工事完了を実現するため、関係機関や地元との協議を適切に実施し、計画的に													
\vee		工事を通			Teach readed 1		>100 = 1 11 11 11 11							

	· • •	' '	/X \	1 // 0 0	1及01個//		1 IW >					(13)	_,,
	会	計名								担当	部建	設部	
	—船	会計		工 ,呆 ∨	0 0 1	口幼山光吸立	ட்≘ரு	나 <mark>古 늄</mark> 왕	L	担当	課道	路建設課	
款		項	目	⊓担 U	2 – 3 1	号線他道路新	丌設口	以及争え	₹	担当	係 事	業推進係	
8	_	2	3										
				分野	都市環境	;							
			画信	基本施制									
		施急	传体系	施策の内									
Р						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<i>ا با</i>		○市道	02_31早	L 終 (井	: 半城土町	★ 組~셇
А	A 事 業		目	る周辺道		ることにより、歩行		主たる内容	点: 延 幅	小垣江時長 長 員 10.	町北高根) 680i 0~16.0i)の道路整備 m	Ī
	概		0.5										
\wedge													
計	要												
画		位置	関連計	一 都市	計画マスター	プラン							
		位置づけ	根拠法	令 道路	 法								
V		5	対象者	市民				事業期	間 平月	t 2 9 年	度 ~		
			施方法				h . Bhe					1-11-12	
				8年度実績		29年度実績	2 19375		0 年度実績	±		31年度記	+imi
				〇十烃夫領		全 至 至 至 注 点 改 良 詳細 設 計		・ 道路概略		貝	■ 衣羊	点改良工事	
						也測量		• 用地取得		ٱ	X E	以及工事	「自力
								(H29繰越		.			
					_			·交差点改 · 用地測量		iT .			
								川池原					
	ر												
	В			庚申塚3	交差点改良に必	要な用地取得ができた	<i>t</i> =。						
	事	F.	以果										
	業			∧* ₽	しよカモギモ国本をし、 ・		7 2 2 4 5	18+ 7					
_	実	_	m e Ŧ	正耒厅。	ど協議調金し、ⅰ	計画的な事業進捗を図	図る必安	<i>ກ</i> າທູຈ.					
_		ō	果題										
	績								ch/= /=	-			T. /-
0				1	指標名称 (単位)	<u>d</u>)		0.0年度	実績値		八左府	日標	
		活重	九 治 5	格用地の面	積取得率(%))		28年度	29年	反 3	0年度	31年度	3年度
\wedge		指標		:п/11>С о У Ва	R4x 1 + (70)	,		_	-	-	84. 2	84. 2	84. 2
		活動		路整備率(%)			_	-	_	_	12. 3	50. 7
実		指標	R										
			ちとの										
施		比輔	交検証										
			234 I-L		28年度	29年度	3	〇年度	31年	度		30年度	
\vee			単位:	十円	(決算)	(決算)	1	決算)	(予算			事業費内訴	
			事業費	₹ ①		0 2, 678		151, 247	99	, 000		計 151,2	47, 303 円
	С	14-4-21/2			0 0		7 040	70	100	旅費 需用費		51,280 円 41,000 円	
	事	財子を対象			0 0		7, 848		, 100	委託料	9, 1	06, 333 円	
		源	-	般財源		0 2, 678		143, 399	20	, 900	公有財產		48, 690 円
	職員人件費 ②			0 775		4, 012	2	, 012		,			
	総事業費(①+②)			0 3, 453		155, 259	101	, 012					
	全体事業費(単位:千円)			0	3	30年度特別	定財源名科	尓					
	ト 建 30年度までの累積事業費 3 年度以降の事業事目3			0	繰越	金							
		事業					1						
	事業 2年度以降の事業		の事業費見込	0									

	会	計名				担当部	建設部
		设会計	市道02-31号線	急他道路新設	'改良事業	担当課	道路建設課
款		項目			.以及于木	担当係	事業推進係
8		2 3					
			各視点からの評価			評価の理	! 曲
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である な	高い	刈谷依佐美地区工 化と歩行者の安全を		こより増加する交通の円滑 0必要である。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	企業庁と連携して ができる。	整備を進める	がため、効率的な事業推進
С	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	工業団地整備に必 している市が行うこ		情は、工業団地整備を推進 5る。
K < 評	評価	施策への 貢献度	Ⅰ • 目標達成度	普通	工業団地整備を推 な事業である。	進し、企業立	Σ地を促進させるため必要
価			今後の方向性	□拡充 ■現状維持	寺 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
11111		企業	庁による工業団地整備と同調し	道路整備を行う。			

		•	1/2	. 1 // 0 0	1/2011	u, ,,,,		/ш/	!				(13	
	会	計名									担当	首部 建	設部	
一般会計 市道3-928号線他道路新設改良事業 ^{担当課 道路建設}									路建設課					
款		項		中担 3	-92	87		下改口	以及争え	₹	担当	4係 事	業推進係	
8		2	3											
		(11)	^ - ı —	分野	都市	環境								
			合計画	其太施領		· 交通								
		施第	策体系	施策の内		の整備								
Р							小垣江安城線の	周辺		市道3-	-928 号 約	泉他 (小垣	江町東高根	他)の道路
L A	A			道路を整	怪備するこ	ことによ	り、県道に分断 性を確保する。		主た	整備 延長	:	270m ~9.6m		
Ν	事業概		的						主たる内容					
↑	要													
画		位置づけ	関連計	†曲 刈谷	市都市計	画マスク	タープラン							
\vee		つけ	根拠沒	其 令 道路	法									
V			対象者	市民					事業期間	日 平月		 F度 ~	令和 5 年度	
			 E施方法			 ≨ ⊓‡		h . Bhe						
		>				00 1		יונעיי נ			· ±		つれ左舟€	上面
				8年度実績			29年度実績		<u> </u>	〇年度実統 26㎡	惧	■ 道路	31年度 改良工事 1	50m
									기가 많아지 1학	20111			繰越分)	
												・用地	取得	10 m ²
						_								
	В			/		<i>但北一</i> +	- ±							
		,		付省える	水路用地取	待かぐる	£7 : 0							
	事	,	火木											
	業			用地交流	歩が難航し	ている。								
D	実	į	課題	7	2 11 ME/200									
_	績		IA NES											
	順					/\\/.I\\				実績値	古		目標	亜値
О				3	指標名称	(単位)		ŀ	28年度	29年		3 0 年度	31年度	3年度
		活動		水路用地の	面積取得	率(%)					0. 3	4. 2	4.5	100.0
\wedge		指標									0. 0	4. Z	4. 0	100.0
		活動指標												
実											1			<u> </u>
- /-			もとの 蛟検証											
施		ᄔ	以识别证											
\vee			単位	 : 千円	283		29年度		O年度	31年			30年度	
V			— III	. 115	(決算	算)	(決算)	(決算)	(予算)		事業費内訴	
			事業費	貴 ①		0	0		1, 231	13	3, 000		計 1,2	231,047 円 1,000 円
	С	Et l	特	定財源		0	0		1, 137		0	委託料	- 0# 7 # 0	336, 441 円
	事			0	0		94	11	3, 000	公有財產 補償、補	E購人費 − 8 捕填及び賠	856, 170 円		
	業	源 一般知源 0 業			0					償金		37, 436 円		
	職員人件費② 0 0				2, 006	1	1, 316							
					0		3, 237	14	1, 316					
全体事業費(単位:千円)						30年度特別	定財源名和	尓						
		設事	3	30年度まで	での累積事	業費	0	公共	補償金					
		建 設 事 業 2年度以降の事業費見込			見込	0								

	会	計名				担当部	建設部
		设会計	市道3-928号線他道	攺新設	改良事業	担当課	道路建設課
款		項目	111年0 920万物店足	<u> </u>	以及于木	担当係	事業推進係
8		2 3					
			各視点からの評価			評価の理	! 曲
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	県道小垣江安城線 び安全性を確保する		∂断される地区の利便性及 5る。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	県道整備の事業進 ていくため、効率的		○、用地購入、工事を進め ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
С	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	市民生活の利便性い事業である。	及び安全を確	雀保するため、公共性の高
K < 評	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	普通	道路整備により、 能になる。	県道整備で欠	う断された地区の往来が可
価			今後の方向性□拡充	■現状維持	専 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止
11111		県道/	N垣江安城線の事業進捗状況にあわせて	、用地取得	書、道路整備を進めて	iv<.	

1 //		' '	<u> </u>	1 // 0 0	1/2011	ш, , у с		іш -	<u>'</u>		_		(1.5	(2/1)
会計名 ──般会計 款 項 目 市道 1 一 4 7 4 号											担	当部	建設部	
							60 717 大 122 41	∽=п		<u> -</u>	担	当課 道	 道路建設課	
軟		百		力坦!	-4/	4号	稼 他退路制	T設「	以及事 タ	₹	扫	当係 道	 鱼路整備係	
	_										<u> </u>			
0	_		ა	() m3	4									
		総合	計画	分野										
			体系	基本施制	€ 道路	各・交通								
Р		אנטוו	K 14471X	施策の内	容歩道	道・自転	車道の整備							
				道路を	-拡幅し、	富士松	駅と富士松駅南	口第2		市道1	-474号	·線(今川町	上池)の歩道	整備
							けることにより、	、歩			툿	24m		
L				行者の多	そ全を確何	呆する。				歩道	直幅員	3.5m		
	Α		∄						+					
Α	事		_						たた					
	#								主たる内容					
Ν	業	f	的											
	概	,												
\land	ואען													
計	要													
		位	——— 関連計	画 刈10公	古邦古計	・画 フィク	 タープラン							
画		置 🗀				<u> </u>	, ,,,,							
\vee		<i>H</i> 7	根拠法	↑ 道路	法									
•		Ż	才象者	道路	 利用者・	駅利用を	 者		事業期間	9 平	成30	年度 ~	平成30年月	
								n 8+16						
		夫	施方法			:at ⊔1	旨定管理 口補助) • 助/						
			28	8年度実績			29年度実績			〇年度実			31年度記	計画
							易整備事業により	用地	・道路新設	改良工事	₹ 24n	n		
						取得	100m²							
												·		
	В			道路新記	设改良工事	事を実施し	ノ、事業完了するこ	とがて	きた。			'		
	事	成	果											
	業													
D	実	=8	題											
		ōz	잲											
	績													
0				į	指標名称	(単位)				実績				票値
		,	1.11			/			28年度	295	F度	30年度	31年度	3年度
^		活動		A整備率(%)				_			100.0	_	_
\wedge		指標	-							-			-	
		指標												
実		1日作							<u> </u>				<u> </u>	l
		他市	ことの											
施			検証											
						— —		_	0.55		-		0.05	
\vee			単位:	千円	28		29年度		〇年度	314			30年度	
•		单位 · 干的		(決	算)	(決算)	((決算)	(予算	算 <i>)</i>		事業費内部		
			事業費	1		0	0		6, 123		0	工事請負		122, 520 円 122, 520 円
	С		#+-	50+XE							^	┥ ゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゚゚゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙	- . ₽ 0, 1	122, 020
		財	特认	官財源		0	0		0		0			
	事	源	— A	 g財源		0	0		6, 123		0			
	業						_					4		
	職員人件費 ② 0		0		849		0							
			^		6 070		0	1						
	ス 総事業費 (①+②) 0		0		6, 972		U							
			全	体事業費	 (単位:=	千円)	0		30年度特別	定財源名	称			
	全体事業費(単位:千円)				-									
		建設事業	3	〇年度まで	の累積	事業費	0							
		業) 年度以及	の車業費	:目:フ	0							
	業 2年度以降の事業費見込			元丛	ا ^ب ا					1				

		計名 (会計					担当部担当課	建設部 道路建設課
款		項目	市道1-474	号線他道	路新設	改良事業	担当际	道路整備係
8	_	2 3					1=_1//(是
			各視点からの記	平価			評価の理	由
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需 ・市民生活上必要である		高い	駅と駐輪場の間 必要性の高い事業		元者の安全性が確保される
Н		効率性	・コストの節減、費用 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	対効果	普通	事業用地の取得 果が早期に確認で		C整備することで、事業効
E C	D 内 部	妥当性	市が主体となって実施べき事業であるか総合計画との整合性		普通	地域住民の利便 る。	性の向上を図る	る、公共性の高い事業であ
K ハ 評	評価	施策への	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効!	果 など	普通	駅から駐輪場ま い事業である。	での歩行者導約	泉が確保される貢献度の高
価			今後の方向性	□拡充	□現状維持	一改善・効率化	□縮小 □終	以期設定 □休止・廃止
>		平成	30年度事業完了					

1 //	· · ·		/ \	1 // 0 0		ロルチがチズ	1 ш /	Į.				(131	
		計名										設部	
	一般会計 市道2-496 款 項 目 日本 8 2 3 分野 都市環境					导線他道路業	斤設 2	カラ と	*		-	路建設課	
	_	-		,			71 42		1~	担	当係 道	路整備係	
8		2	3	△>⊞⋜	数 本 理 接								
		総合	計画	基本施定		 ≨							
		施策	体系	施策の内		<u>-</u> 云車道の整備							
Р						設置することによ	り、					銀座4丁目~	·終点:新
L A	A	(∄	歩行者 <i>0</i> 図る。)安全確保及び	地域の住環境の向	上を	主た	延長 幅員 車道			360m ~17.5m 7.0m	
N ^	事 業 概	É	的					主たる内容		道幅員 泉類地ロ	 中化	4.0m	
計	要												
画		位置づけ	関連計	画 刈谷	市中心市街地ま	ちづくり基本計画	三、無言	電柱化推進	計画				
\vee		0 t	根拠法	令 道路	法								
·		文	才象者	市民				事業期	可 平	成15	年度 ~	令和3年度	
		実	施方法	■直	営 ■委託 □		力・助原	· 或 口その	他				
			28	3年度実績		29年度実績		3	O年度実	績		31年度計	
			也取得	建	219㎡ ・用地		35 m ²	(H29繰越		110		繰越分)	E 110
			‡移転 格新設		7件 ・道路 115m	新設改良工事 11	løm	• 道路新設	(以及上事	÷ 118	m ・追路	新設改良工事	₱ IIZM
			7繰越2	分)	228m²								
			也取得 ‡移転	補償	228m 6件								
	В			当 吹 sc=	小小白工車を宝物	し、道路整備率の進	+性太図	1スーレがで	÷ <i>t</i> -				
		ta.	果	担	汉以及工争で关心	,し、追路登禰卒の地	き沙で区	しめててから	e 12.				
	事	12	V										
	業			用地交流	歩が難航している	0							
D	実	調	題										
	績												
0				1	指標名称(単位)	-		実績			目標	
		活動	道見		積取得率(%)			28年度	295		30年度	31年度	3年度
\wedge		指標		元元での面。	惧以付牛(70)			91. 4	1 9	94. 4	94. 4	94. 4	94. 4
実		活動 指標		B整備率(¹	%)			56. 7	7	56. 7	73. 3	88. 6	88. 6
~		他走	i との										
施			検証										
\vee			単位:	千円	28年度	29年度	1	0年度	311			30年度	1
			事業費	· 1)	(決算) 256, 475	(決算)	(決算) 103, 902	(予算	早) 770			01,646 円
	С	財			64, 871	53, 412		53, 617		0	☑ 委託料 □ 工事請負	負費 73,7	877, 120 円 183, 000 円
	事	源		 段財源	191, 604	10, 182		50, 285		770	」 補償、稱 │ 償金 │	捕填及び賠 13,7	41,526 円
	業「				12, 817	6, 514		3, 241		929	1		
	コス	総事	総事業費 (①+②) 26			70, 108		107, 143		1, 699	1		
	\ 	7,⇒	全	体事業費	(単位:千円)	0	3	30年度特	定財源名	称			
		建設事業	3	〇年度まで	での累積事業費	0	社会	資本整備総	合交付金	(国)	7		
		事 業	2	2年度以降	 の事業費見込	0	」 理 電線 繰越	新設改良事 共同溝建設	·未恨 发負担金				

	会	計名				担当部	建設部
		会計	市道2-496号線他道	攺新設	改良事業	担当課	道路建設課
款		項目	川垣と するし 分脈に足	<u> </u>	以及于木	担当係	道路整備係
8		2 3					
			各視点からの評価			評価の理	曲
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い			隷類の地中化を行うことに €の利便性が向上する。
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	道路整備に合わせ 的に事業進捗を図る)地中化を図るため、効率 貴の節減が図られる。
E C	D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	市民生活を安全かである。	つ快適にする	ため、公共性の高い事業
K へ 評	評価	施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い		道路とするこ	子な歩行空間が確保され、 ことで、中心市街地の活性 いる。
			今後の方向性 口拡充	□現状維持	専 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 ■休止・廃止
価 ∨		引き糸	売き、地権者交渉を進める。				

1 //	<u> </u>	1 1/2	× \	1 /24 0 0 -		ш/ /ос		1 ш /	!				(15)	2017	
会計名 一般会計 都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 担当部 建設部 款 項 目 線料地点化事業 担当係 道路整備係															
± _h	_		線類地中化事業							<u>.</u>		-			
水	_	頃 日 4 3	- 1	泉類地中	中化事	業					12		四定佣床		
		4% > =	tien.	分野	都市	 市環境									
		総合記施策体		基本施策	策 道路	各・交通									
Р		ושאויו	平示	施策の内			車道の整備								
·							を地中に埋設す 歩行空間を確保						線(起点:高 の道路整備	5松町1丁目	
L				とともに	こ、発災に	時におけ	る緊急輸送道路			延長	<u> </u>	474	4m		
	Α	目		ての機 <u>能</u> 	ŧを確保⁻	する。			主	幅員	i 製類地「	15.(0m		
А	事								た。		アフリ				
	業	,,							主たる内容						
IN		的	l												
/\	概一														
計	要														
画		賞 ——	連計		計画マス	タープラ	ラン、刈谷市中心	ѝ市街₺	也まちづく	り基本計	画、無	電柱推進計	画		
V		月根	拠法:	↑ 道路	法、電線	共同溝	整備等に関する特	持別措 置							
		対	象者	市民					事業期	間 平	成25	年度 ~	令和5年度		
		実施	方法	■直	営■委	託口打	指定管理 口補助	か・助原	或 □その	他					
		== \do		年度実績		-F. 40 10	29年度実績	7		〇年度実	績	= w	31年度記		
		• 電線	類地口	中化工事	12/m	▶ 電線類 (H28線	頁地中化工事 14 異越分)	ł/m	(H29繰越 ・電線類地		147		類地中化工	≱ 210m	
							通地中化工事 12	?7m	243090	, , ,=_ ,					
	В						道路整備(電線類	地中化	及びバリア	フリー化)	工事を	·行い、電線	類地中化・道路	各整備率の進	
	事	成身	₹	捗を図る: 	ことができ	きた。									
	業														
D	実	課是	酒												
	績	UNK	_												
	1150			<u> </u>	指標名称	(単位)				実績	恒		目標	票値	
0		ンエチャ	- F- 44						28年度	29年	度	30年度	31年度	3年度	
\wedge		活動 指標	电称	類地中化	" 坦岭笠	11用4中(9	/o)		0. 0) 1	12. 8	27. 5	48. 7	79. 0	
		+15+1番													
実		指標													
批		他市 と 比較を													
施		νυ+X1)	ХШ												
V		単	单位:	千円	28 (決	年度	29年度 (決算)		〇年度 決算)	3 1 ^年 (予算			30年度 事業費内部	,	
			**	<u> </u>			101, 759		127, 868		弾 り 0, 079		計 127,8	868, 344 円	
	С	事業費 ① 17,101		·					」工事請負 補償 編	負費 69,5 捕填及び賠	548, 760 円				
	事	財 特定財源 1,298		1, 298	79, 797		98, 549	7	6, 446	賞金	58, 3	319,584 円			
		源 一般財源 15,803 21,962				29, 319	6	3, 633							
	業 職員人件費 ② 4,455 5,351					2, 469		3, 251							
	ス 総事業費 (①+②) 21,556 107,110					130, 337	14	3, 330	1						
	ヘ ト	7=1	全任	本事業費	(単位: -	千円)	0	(3 0 年度特	定財源名	称				
	·	建設事業	30	 O年度まて	の累積	事業費	0		資本整備総		(国)	1			
		事 業		年度以降			0	都市 繰越	交通施設整 金	全偏基金					
			4	一人文以件	ップサ未見	元心	ı	l				1			

		十名 会計	L	都市計画道路3・4・5	5 1 刈	谷環状線電	担当部担当課	建設部 道路建設課
款	_	項		線類地中化事業			担当係	道路整備係
8		4	3	你 規范千七字未				
				各視点からの評価			評価の理	±
С		必	要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	電線類地中化は、 安全で快適な歩行空		名の機能確保及び歩行者の 5上で必要である。
Н		効	率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など		縮減を行い、	のバリアフリー化を実施 効率的な事業進捗を図る	
E C	D 内 部	妥	当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	普通	道路の改良事業で 性の高い事業である	03 0 . 1	i路管理者が行うべき公共
K へ 評	評価			・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	電線類地中化を行 市民が利用しやすい		子な歩行空間が確保され、 とができる。
				今後の方向性□拡充	専 □改善・効率化	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止	
価 >			今後 [:]	も計画的に、道路新設改良工事(電線類	地中化工事	客含む)を進めていく 。	5	

_							_ ,		-					
		計名		8市計i	面道路	7 -	4 • 5 5 5	5 XII 2	谷駅前線	泉道			設部	
	_	会計		IIII-HII	— <i>~</i> = <i>P</i> 1	•			- in (.ε.) / i.ε.	~~ <u>~</u>		-	路建設課	
<u>款</u>	_	項 目 4 3	ib-	各新設	改良事	業					担当	当係 道	路整備係	
0		4 3		分野	都市:	には								
		総合記		基本施定		<u>**元</u> ▪交通								
D		施策位	本糸	施策の内	1 1 1		 車道の整備							
A N ^	A 事業概要	的		刈谷駅 化及び3 安全なが となった	R北口周辺 安全性の向 歩行空間の ⇒新たな賑 川谷駅北口	に おけ 上を図 確保と わい空	画車交通の るととづくりる 、まま創出ードづく	心で 一体 とに	主たる内容	~終延幅車歩電バリ	i : 桜町 [[「1丁目)の (一車線、- ¹ 化 一化	1 一方通行)	250m 8.0m 5.0m 9.5m
画		位]連計[画 都市	<u></u> 計画マスタ	マープラ	ラン、刈谷市中心	市街	地まちづく	り基本計i	画、無情	 電柱化推進	 計画	
		位置づけ根												
V		.,	 象者	市民			· 12 1/10 / 5 / 6 / 6 / 6 / 6 / 6 / 6 / 6 / 6 / 6		事業期間	門 亚	ポクフ1		 平成31年度	 F
						£ 🖂+		h. Atho			火 2 / -	十尺	T 1% O T T 13	
		天川	方法	年度実績		t Uf	29年度実績) • B/J/		^也 O年度実	ዾ		31年度記	+m
		道路				雷線類	<u> </u>	7m	電線類地			n · 道路	新設改良工事	
		• 連絡: • 交差: (H27	通路延 点改良 繰越欠 類地中) 中化予備設	計				▶連絡通路	延伸工事	1 =	3. 电枪	通路延伸工事	事 1式
	B 事業 実	成员		駅前で何	共用されてし	ハる道路	電線類地中化率10 各のため、仮設道路 可政が協働して周辺	朔間を	€減らし、エ					っていく必要
	績	課是	艺	がある。										
	順			4		/ }} / 				実績	直		目標	票値
0					指標名称(、甲1112)			28年度	29年		30年度	31年度	3年度
\wedge		活動 指標	電線	類地中化	率(%)				_	- 3	32. 7	100.0	_	_
	•	<u>指標</u> 活動 指標	道路	整備率(%)				_	-	_	_	100. 0	_
実施施		他市 8												
\vee		i i	单位:	千円	28年		29年度		〇年度	31 [±]			30年度	
V					(決算		(決算)	(決算)	(予算			事業費内訴	
		事	業費	1	84	, 835	60, 181		173, 862	24	6, 058	委託料	60, 2	61, 912 円 42, 400 円
	С	財	特定	財源	10	962	26, 782		167, 976	17	0, 000	工事請負 補償、補	填及び賠	515, 520 円
	事	源	一般	財源	73	3, 873	33, 399		5, 886	7	6, 058	償金	6, 0	003, 992 円
	業	職員	人件	費 ②	3	3, 282	4, 032		5, 169		3, 251			
	コス	総事業	養(1+2)	88	3, 117	64, 213		179, 031	24	9, 309			
	/	建	全位	本事業費	(単位:千	円)	0		30年度特別					
		建設事業	30)年度まで	での累積事	業費	0	都市	:資本整備総 i交通施設整	備基金	(国)			
		業	2	年度以降	の事業費見	 見込	0	電線	共同溝建設	負担金				

				>101 1 Had 2	· '		(13:= 1)					
		計名 会計	都市計画道路7・4・5	55刈	谷駅前線道	担当部担当課	建設部 道路建設課					
款		頃 目	路新設改良事業			担当係	道路整備係					
8		4 3	四初区以及手术									
			各視点からの評価			評価の理	由					
С		必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い	交通拠点となる刈 し、活性化を図る必		oしい、賑わい空間を創出					
Н		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	地元住民、商店街 ショップと連携し、		注案などが参画するワーク "ザインを決定した。					
С	内部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	高い		意見を参考に	りにあたり、地元ワーク 事業を進めていくのは、					
K へ 評	評価	施策への 貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い			事業の推進を行うことに こまちづくりが実施できて					
			今後の方向性□拡充	■現状維持	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□縮小 ■終	期設定 口休止・廃止					
価		刈谷馬	R北地区整備事業との工程調整しながら。 である。	、事業を進	≜ める。							
\vee												

1 //				1 /2000	一,又01100/ //51		1 ш /					(10)	
	会	計名								担当	当部 建	設部	
	一般	公会 計	 	止,呆斡,	 					担当	当課 道	路建設課	
款		項	B	步道整	胂 未					担当	当係 道	 路整備係	
8	_	2	3										
Ĭ	_			分野	都市環境								
		総記	合計画	基本施									
		施訊	策体系										
Р				施策の内		_{単退の整偏} 段差等を解消す	z –		一丰内	스턴の	作品につ	いて細木・占	+今また(1)
L					隹もが歩きやすい	段差等を解消す 安心安全な歩道			整備計	画を策	定し、順	いて調査・点 次整備工事を 長 146km	
	Α							<u>~</u>					
Α								主たる内容					
	事							るの					
Ν	業		的					容					
,	概												
\wedge													
計	要												
画		位置	関連計		市都市計画マスタ	タープラン							
_		位置づけ 	根拠法	达 令 道路	法								
٧			対象者	市民				事業期間	平 平 月		 年度 ~	令和8年度	
		ᢖ	 施方法	去■直			カ・助成	L □そのf	<u> </u>				
				8年度実績		29年度実績	1) つ年度実績			31年度記	+面
		• 計		業務委託		¥細設計 1式		・歩道整備			・歩道	整備工事 4	
						整備工事 26m		(H29繰越	分)				
		l						• 歩道整備	工事 26	4m			
		l											
		l											
		l											
		l											
	В			歩道整例	備工事を実施し、な	歩道整備率の進捗を	図るこ	とができた。					
	事	J	成果										
	業			な「なんウ	o ** #* + + + 1. \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		1 1 4 ET	/mr. =14		/# <i>-</i>		/×上 フ	
	実		-mo-	合路線(ル登偏内谷や沿追 が	施設、歩道の特性な	にとを評	伽し、計画は	別に変担発	1佣を美力	他りる必要だ	かめる。	
		Ī	課題										
	績									_			≖ / -
0				1	指標名称(単位)		-	0.0左连	実績値		0.0左连	目標	
		活動	助 歩	道整備率(%)			28年度	29年		30年度	31年度	3年度
\wedge		指標		但正佣 十(707					0. 1	1. 5	3. 2	4. 0
		活動	助										
実		指標	票										
		他ī	市との										
施			較検証										
					20年度	20年度	2.0	○任庶	215	F (F)		30年度	
\vee			単位:	: 千円	28年度 (決算)	29年度 (決算)		〇年度 決算)	31年			事業費内部	?
			事業費	事 ①	6, 156	9, 623	().	41, 838		9, 000		計 41,8	338, 120 円
	\sim									-	工事請負	負費 41,8	338, 120 円
	С	財 特定的源				0		24, 129		0			
	事		<u>—</u> J	般財源	6, 156	9, 623		17, 709	89	9, 000			
	業		 跋員人作	井費 ②	0	2, 869		3, 626	3	3, 251			
	コス	総事	業費	(1)+(2)	6, 156	12, 492		45, 464	92	2, 251			
	\ \	Z#	全	全体事業費	(単位:千円)	0	3	30年度特別	定財源名和	尓			
		建設事業	3	30年度まで	での累積事業費	0	繰越	金					
		事 業		2年度以降	の事業費見込	0	-						
	* 2年度以降の事業費見込 0						I				I		

	会計名 一般会計								担当部	建設部	
				歩道整備事業					担当課	道路建設課	
款	_			ノた正備予水					担当係	道路整備係	
8		2	3								
				各視点からの評価	ī				評価の理	曲	
С		必	要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である	など	高い	歩道を整備する	ることに	こより、せ	≶行者の安全を確保	する。
Н		郊	率性	・コストの節減、費用対象 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	果	普通	順次、歩道整値 早く確認できる。		めていくこ	ことにより、事業の	効果が
E C	D 内 部	妥	当性	・市が主体となって実施すべき事業であるか ・総合計画との整合性 な		普通	道路の改良工事の高い工事である。		り、道路管	7理者が行なうべき	公共性
K へ 評	評価		への 献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果	など	普通	歩道を整備する ようになる。	ることに	こより、地	^条 行者が安全に通行	できる
				今後の方向性	□拡充	■現状維持	口改善・効率化	七 口紹	耐 □終	期設定 口休止・	廃止
価 >		ראו	整備 言	†画を基に計画的に事業を 進	めていく。						

1 //		' ' -		. 1 /24 0 0	一及山區/ /51							(10)	
	会	計名							担	当部 建	設部		
	一般	会計	+	括 II L	スポ没事業	.				担	当課 道	路建設課	
款		項	目	倘りよ	う補強事業	:				担	当係 道	路整備係	
8	_	2	4										
				分野	福祉安全								
			合計画	其太施									
		施	策体系	施策の内		<u> </u>							
Р						ょうの耐震化を	伊維		○括Ⅰ	1 4 3 7	の耐震化		
L				し、地震		ょうの 耐 展化を で 安全に避難する :					り 感感化り よう数 3	37橋	
	Α		B					÷					
Α			Н					上た					
	事							主たる内容					
Ν	業		的										
	概		05										
\wedge													
計	要												
		位	関連記	画 地域	防災計画、地震	 対策アクションフ	゚゚ヺン	•					
画		位置づけ	根拠法				-						
\vee								NV +-0.5		b		A	
			対象者	市民	: 			事業期間	平	成24	年度 ~	令和7年度	
		9	実施方法	去■直	営 ■委託 □打	旨定管理 □補助	・助原	或 □そのか	也				
			2	8年度実績		29年度実績		3(O年度実	績		31年度記	十画
		• 橋		耐震補強実		う耐震補強実施	設計				3橋・橋り	ょう耐震補強	
					6橋		6橋	(江川2号	· 橋、新		、折		2橋
				前震補強工 、帆落田橋		くう耐震補強工事 原橋、蓮池6号橋、			(新)			ょう耐震補引 戸橋、庚申3	
				地川橋、元		张侗、建心5万侗、 禹、宮東橋、鴎7号					橋		ケークでは、イギッグ
				号橋、丸山	橋) 寺裏	憂跨線橋)	3 11-3				11-3	•	
					(H 28約	操越分)	0.15						
						くう耐震補強工事 11号橋、丸山橋)							
					(291)	11万侗、光川侗/							
B 計画的に耐震補強工事を行うことができた。													
	事		成果										
	業			橋りょ	う耐震化計画に基っ	づき、橋りょう補強	につい	て関係機関	≥調整する	必要が	ぶある 。		
D	実		課題										
	績												
	אכווו								実績	値		目標	票值
0				;	指標名称(単位)			28年度	29年		30年度	31年度	3年度
		活動	助 避	難道路内の	橋りょうの耐震化	上率		21. 6		37. 8	45. 9	54. 1	67. 6
\land		指标	票 (%)				21.0	`	37. 0	4J. 9	J4. I	07.0
		411	·m										
実		指标	崇										
		他i	市との										
施			較検証										
					0.077	0077		O/F #	0.1.1	- -		0055	
\vee			単位	: 千円	28年度	29年度		0年度	315			30年度	1
					(決算)	(決算)	(決算)	(予算			事業費内部 計 33,6	602, 040 円
		事業費 ① 57,				99, 536		33, 602	4	8, 600	工事請負		602, 040 円
	С	, 財 特定財源 6, 2				84, 442		0		0	7		
	事	A0				·					4		
		源	_	般財源	51, 308	15, 094		33, 602	4	8, 600			
	業	職員人件費 ② 4,				3, 412		1, 620		3, 638	1		
	\Box	дь	w 	T貝 ©		5, 412		1, 020		0, 000	4		
	ス	総引	事業費	(1+2)	61, 746	102, 948		35, 222	5	2, 238			
			1		(単位:千円)	0	:	 3 O 年度特別	2財源名	称			
	7	建					,	ענו צוד כ		19.	4		
	設 30年度までの累積事業費 0												
		建設 30年度までの累積事業費 0 2年度以降の事業費見込 0											
					2	ı	l				1		

	平成る「平皮(平成るし千皮許皿)が合い事物事業評価グード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
		会記					担当部	建設部							
L		_	会計	橋りょう補強事業			担当課	道路建設課							
	款	_	月 日	110 5 0 5 110 522 5 512			担当係	道路整備係							
L	8		2 4												
				各視点からの評価			評価の理	· <u> </u>							
			必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である など	高い			を全に移動できるよう、 もりょうの耐震化を行う必							
F	4		効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性 など	普通	11.1 4 4 4 1 1 1.411.241.2		6化計画を調整することで 5業を進めることができる。							
C		D 内 部	妥当性	・市が主体となって実施する べき事業であるか ・総合計画との整合性 など	高い			i務として「被災者等が迅 有行確保に努める」として							
/ iii	\	評価	施策への 貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果 など	高い	災害に強いまちづ る橋りょうの耐震化	—	とめには、避難道路に架か							
				今後の方向性□拡充	■現状維持	・ □改善・効率化 〔	□縮小 □終	期設定 口休止・廃止							
個	Ш		関係誤	 と調整しながら、耐震補強工事を順次	実施し、過	難道路の機能確保に	努める。								
\	/														

- ''			× \	1 // 0 0	1/201100/ //31		1 ш >					(13	(2/1)
	会	計名								担	当部	建設部	
	一船	设会計	<u>`</u>	苦!!!! 	地等管理事	· 业				担	当課道	鱼路建設課	
款	T:	項 E	⋾	旦陷川	心守旨连事	未				担	当係 事	業推進係	
8		2 3	3										
		/// A	=1-	分野	都市環境								
		総合		基本施定	ま 道路・交通								
		施策	体糸	施策の内									
Р						草刈り、砕石敷	均し		事業	着手で	しるまでの	期間、取得し	た道路用
					特管理を行い、安		., .		地の定	!期的な	は草刈を行	う。また、必	必要に応じ
L									安全面	を考慮	載して砕石	の敷均しを行	īう。
	А	E	3					主					
Α	事		_					定					
								主たる内容					
Ν	業	É	5					容					
^	概												
\wedge													
計	要												
画		□ □ □	■連計	画									
		位置づけり	艮拠法	슈									
\vee				15				± ₩ #0E	IB I				
		Χī	象者					事業期間			~		
		実施	施方法	■直	営 ■委託 □៎	指定管理 □補助	か・助成	は 口その作	也				
			28	3年度実績		29年度実績		3()年度実績	債		31年度記	
				用地管理		業用地管理		・道路事業				事業用地管理	
		(除	草、語	浦装補修)	(除耳	草、舗装補修)		(除草、	のり面補 [・]	修)	(除	草、砕石敷均	匀し)
	В			送 2		上地の維持管理が適	シャルーター	われている					
		成	⊞	但邱历上	世として取得した _	こ地の維持 自注が地	9)IC11	1710 (0.00)					
	事	13%	木										
	業												
D	実	課	旦百										
		赤	起										
	績								⇔ ∉ !:	±			市 法
0				ŧ	指標名称 (単位)			20年度	実績値		20年度		票値
			I					28年度	29年	-12	30年度	31年度	3年度
\wedge		指標											
実		指標		I									
		他市	ل ص										
施		比較											
,,,													_
\vee		<u>È</u>	単位:	千円	28年度	29年度	l .	0年度	31年			30年度	
					(決算)	(決算)	()	決算)	(予算		1 2	事業費内部 計 8,9	935, 920 円
		Ę	事業費	(1)	18, 973	2, 846		8, 936	12	2, 780			147, 520 円
	С	B- /	特定]財源	0	185		93		2	工事請負		788, 400 円
	事	753									4		
		源	一般	別源	18, 973	2, 661		8, 843	12	2, 778			
	業	職員	 員人件	費 ②	1, 329	2, 094		1, 620		929	1		
	\Box					·			ه د		-		
	ス	総事	美賀((1+2)	20, 302	4, 940		10, 556	13	3, 709			
	全体事業費(単位:千円) 0						3	3 〇年度特別	定財源名和	尓			
		建設	3	 ∩	の累積事業費	0	行政	財産目的外	使用料		1		
		建設事業				-							
		*	2	4年度以降	の事業費見込	0							

		= 1 =										11/42	+== +-	
		計名											建設部	
	一般	会計	=	+:潢 ∩	2 - c	早線	道路新設改	7 良 3	車		担	当課	直路建設課	
款	:	項 [∃ '	1.75		אלווי ביי		\ <u> </u>	+ ~		担	当係	直路整備係	
8		2	3											
		松合	計画	分野	都市	環境								
			体系	基本施筑	策 道路	・交通								
Р		池东	平介	施策の内		各の整備								
				発杭丿	Ⅱ排水機均	易へ通じ	る道路の冠水を	防ぐ					重池)の道路	整備
							い、排水機場への	の安			40			
L				全な通道	各を確保で	する。					5 m	ו		
	А	E	∄						主					
А	事								たっ					
	業								主たる内容					
1 /		É	的						容					
\wedge	概													
計	要													
		/rt E	関連計	面										
画		真 —			\									
\vee		け 1	限拠法											
		Ż	付象者	市民					事業期	晋 平月	或3 0	年度 ~	平成31年原	支
		実	施方法	■直	営 ■委	託 口打] • 助原	· ロその	他				
				 3年度実績			29年度実績			〇年度実績			31年度記	十面
				1/2/							~	(H30	繰越分)	10
												道路親	f設改良工事	40m
					-	_								
	В			、关 DQ 立C =	ᇌᆄᆸᅮᆥ	シェニュ	+-							
		ct.	果	担	設改良工事	#1〜有十し) / C o							
	事	13X	本											
	業													
D	実	≣∉	題											
		□木	T/LES											
	績									実績	古		目標	西估
О				1	指標名称	(単位)			28年度	29年		30年度	31年度	3年度
		活動	道路	B整備率(%)				20千皮	204	1X			0十/又
\wedge		指標	:									0. 0	100. 0	_
		活動												
実		指標	:											
			iとの											
施		比較	検証											
					28	在度	29年度	3	〇年度	315	E度		30年度	
\vee		!	単位:	干円	(決		(決算)		決算)	(予算			事業費内部	7
							0		0		0	1	合計	0 円
	С	11-0-0-17										_		
		財特定財源				0	0		0		0			
	事	源 一般財源				0	0		0		0			
	業					0						-		
							0		0		0	_		
	ス 総事業費(①+②) 0						0		0		0			
	全休事業費 (単位・千円)					0		30年度特	定財源名	尓				
	+	建					_		בין אלוט.			4		
		建設事業	3	〇年度まで	ごの案積	手業費	0							
		事 業 2年度以降の事業費見込					0							

		<u>'</u>		\	19400	1/201								(13	
	会	計名										担	当部 强	建設部	
		会言	+		.>+ ~			7年 14.5 年 14.5	~ = n	_	lė.	扫	当課 道	 直路建設課	
款	_	項		ф	追3.	-36	33号	線他道路親	1設に	汉艮争氵	É	-	-	=====================================	
8	_	2	3									100	3 M 3	* 正是	
<u> </u>	_		ა		/\m\	+/17									
		総	合計	画	分野		市環境								
			策体	系上	基本施策		路・交通								
Р		,,,,]	施策の内		路の整備								
·								小垣江安城線整					線(現3−92	8) (小垣江町	「東高根)
					美により を確保す		れる地区	の利便性及び安定	全性		の道路	・登備 その270			
L	•				で唯休 9	ි							m '∼9.6m		
	Α		\blacksquare							主	ТЩ		0. 0111		
А	事									たったっ					
	عبيد									主たる内容					
Ν	業		的							容					
٨	概														
\wedge															
計	要														
画	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン														
Ш		位置づけ	根拠) 	道路	 法									
\vee						14						ı,			
			対象	者	市民					事業期間	可 平月	成29	年度 ~	平成30年度	E
		<u> </u>	実施方	 ī法	■直	営■雲	复託 口打	旨定管理 □補助	り・助原	或 □その(也				
				2 8 f	T度実績			29年度実績		3	〇年度実	繕		31年度記	+面
				_ 0 -	十八人顺		- 道路部	行設改良工事 12	m	用地取得		26n	2	01千段	
							舗装工			・物件移転		1件			
							• 用地取	双得 14	·mů						
						-									
	В				付替えて	首路整備	<u> </u> に必要な用		・ができ	: t- <u>.</u>					
			成果		11 11 / 12 /	2 PH 1E IM	-20-5-071		. 73	<i>7</i> -0					
	事		炒木												
	業														
_	実														
_			課題												
	績														
\circ					‡	岩標名称	「(単位)				実績	直		目標	票値
0										28年度	29年	度	30年度	31年度	3年度
		活		直路月	用地の面	積取得國	区 (%)			_	.	0. 3	4. 4	4. 4	100. 0
\wedge		指									-				
		活動指													
実		181	亦							<u> </u>				1	
			市との												
施			較検												
						0.0	(年)	20年度		0年度 「	215	Ŧ (20年度	
\vee			単位	ī:Ŧ	円		3年度	29年度 (決算)		〇年度 決算)	31年(予算			30年度 事業費内訴)
	(決算)								((丁昇				587, 374 円
	事業費(1)						0	12, 101		7, 587		0	需用費	<u> </u>	1,000円
	C 財 特定財源						0	0		0		0	公有財產		927, 680 円
	事	財 特定的源								· ·			」補償、ネ	#填及び賠	NEO 004
		源 一般財源				0	12, 101		7, 587		0	償金	2, 6	558, 694 円	
	業							4 400		0 055			1		
		職員人件費②					0	4, 420		2, 855		0			
		総章	事業責	§ (1)+2)		0	16, 521		10, 442		0			
	Z							·		T.L.	-				
全体事業費(単位:千円) 0							30年度特別	定財源名	柳						
30年度までの累積事業費 業 2年度以際の事業番目2						0	繰越	金			1				
	事							-							
		業 2年度以降の事業費見込						0							

1 //		' ' '	/2 \	1 /24 0 0 9		/ /:5[ш /						(15)	2417
	会	計名									担	当部	建	設部	
	一般	设会計	- /	十 # # > \ + -	·レ·· Do ロ・	ᄔ	+	-			担	当課	道	路建設課	
款		項	a 1	1百担/	小岭田.	地公	·共補償事業	₹			担	当係	事	業推進係	
8		2	3												
		(1)	· - ı —	分野	都市理	景境									
			画信	基本施策		· 交通									
		施第	食体系	施策の内		の整備									
Р							備に伴い付替え	<u>る道</u>		付担	道路	及び水	路用均	也の取得 5	件
				路及びオ	(路の整備	に必要	な用地買収を行					井ケ			• •
L				代替機能	もの確保を かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	図る。									
	А								主						
Α	事		_						た						
									主たる内容						
Ν	業		的						容容						
\wedge	概														
															
計	要														
画		虚	関連計	画											
		位置づけ	根拠法	令											
V			対象者						事業期間	म ग	# 2 O	- 年度	~	 平成31年度	F
											火るし	一 一 一		十八31十月	Ž
		美	施方法	■直	営■委託	£ □ ‡	指定管理 口補助	」・助 _F	或 □その(也					
			28	3年度実績			29年度実績			〇年度実	績			31年度記	
									・用地取得	57 m ²				操越分) Face 100	
													用地	取得 182㎡	
					-	_									
	В			付替えど		女田+141	D取得を行うことが	できた	<u> </u>						
			成果	ואפעג	旦曜及い外に	олтив∨	74X 147 6 11 7 C C 7/		-0						
	事):	从未												
	業				美国敕 I B	日抽取料	骨を進める必要があ	. Z							
D	実	=	田田五	州と加加	我吶走し、	ין אוייטיינו	すと近のの必及が の	0.00.0							
		ō	果題												
	績									☆ /±/				C +3	∓ / +
0				‡	指標名称 (単位)			0.0/#	実績		0.07		目標	
		活動	力 二 治 →	(改田地の)	面積取得率	(04)			28年度	29年	-	30年		31年度	3年度
\wedge		指標		、四円地の	山恨以付午	- (90)						2	23. 7	100. 0	_
, (活動	D I							1					
実		指標													
		Hh=	声との												
施			で検証												
טנו			,												
\vee			単位:	千円	28年		29年度		0年度	315				30年度	
•					(決算	.)	(決算)	(決算)	(予算	<u> </u>			事業費内訴	
			事業費	1 1		0	0		1, 710		0	需用		計 1,7	1,400 円
	С		性点	 E財源		0	0		1, 485		0	コハォ		購入費 1,7	
	事	財										_			
		源	一 魚	段財源		0	0		225		0				
	業	暗	職員人件費②			0	0		1, 620		1, 703	1			
	\Box]				U						-			
	フ	ス 総事業費 (①+②) 0 0						3, 330		1, 703					
	今休事業費 (単位·壬四) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						30年度特別	定財源名	标						
	7	建													
		建設事業	3	〇年度まで	の累積事	業費	0	公共	補償金						
		業	2	2年度以降	の事業費見	込	0								
												1			

			/2 \	1 /24 0 0 0		u, ,,,		ш /	'				(15	(2/1)
	会	計名									担	当部	建設部	
	— 似	会計					/ / / //	, _	_		担	当課 道	道路建設課	
±h	_			₱ 直3 .	-80	4 号	線道路新設	议以	ラシス ファスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マスティス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイス マイ					
款	_										担	当係	事業推進係	
8		2	3											
		/// A	. = 1	分野	都市	環境								
			画信	基本施筑		・交通								
		施策	体系											
Р				施策の内		の整備				1 1 1 1 1 0		/+ / 		
							い、フローラル:						四村合)の道	路整備
							化することで、	公園			₹ 160			
L				州のか	便性向上	こを凶る	0				6.0	m		
	Α								主					
Α	事	·	_											
	#								主たる内容					
Ν	業		的											
1 1	1011		פם											
\wedge	概													
	要													
計	×													
画		[]	関連計	画										
رت		位置づけ	根拠法	令 道路:										
\vee		ולן (以火火	旦 追路.	/4									
		Ż	対象者	市民					事業期間	平	成30	年度 ~	令和2年度	
		<u> </u>	施方法	■声	————————————————————————————————————	<u></u>		n . Athe	t 020	ь				
		天				āT ∐1		」。						
			28	3年度実績			29年度実績			〇年度実	績		31年度記	計画
									・道路詳細	設計				
					-	_								
	В			道路詳維	田設計がで	きた。								
	#	Б	以果											
	事	15	~~											
	業													
				関係機関	関協議を行	つ必要が	` ある。							
D	実	諄	課題											
	績													
	小只									実績	佔			票値
0				ŧ	旨標名称	(単位)			00/5			20年		
)T =1	, \ *	7 ib/ /# /	0()				28年度	295	FIS	30年度	31年度	3年度
^		活動		B整備率(%)					1		_	-	100.0
\land		指標								+				
		活動								1				
実		指標	ŧ	Ι						1			1	l
		他走	5との											
施			検証											
มเร		レロナン	≺ I>CUIL											
			ᅭ.	T ITT	28	丰度	29年度	3	O年度	311	丰度		30年度	
\vee			単位:	TH	(決算		(決算)		決算)	(予算			事業費内部	
			中州	i	(// \)					(J		4		190, 400 円
		3 1132				0	0		4, 190		0	委託料	4.	190, 400 円
	С	財 特定財源			0	0		0		0]	,		
	=	財物		U			· ·			_				
	事	源 一般財源		0	0		4, 190		0	1				
	業										4			
		職員人件費 ② (0	0		849		0				
									F 000			†		
	ス	スと総事業費(①+②)					0		5, 039		0			
	今休事業費 (単位 · 千円)					-田)	0	,	30年度特別	つけで	称	1		
	ト 建 土体事業員(単位・1円)					J	•	リート文付え		יעין				
	建設 30年度までの累積事業費 第 2年度以降の事業費見込					0								
		事業	-											
		未	2	2年度以降	の事業費	見込	0							